横浜市立幸ケ谷小学校　学校だより

KOU KOU Newsletter

学校教育目標:「自分　友だち　社会の幸せをつくる子ども」

7月号

令和5年6月30日発行
横浜市立幸ケ谷小学校
TEL（441)3170
FAX（441)9896

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

学 校 の 応 援 団　2

校長　　本庄　則子

今年は梅雨らしい日々が続いています。先日の土曜参観では、多くの保護者の皆様にいらしていただきました。校舎や教室の構造上、混雑は避けられないのですが、譲り合って参観していただき、ありがとうございました。子どもたちは緊張気味でしたが、お家の方に学校の様子を見て頂けるのはうれしいと思っているのがよくわかります。授業の内容や友達、先生のことなどが食卓の明るい話題になるといいな、と教室をまわりながら考えていました。

さて、５月の学校だよりでは「PTA」や「共育倶楽部」について、６月の学校だよりでは「おやじの会」について、学校の応援団として日々活動していただいていることへの感謝をお伝えいたしました。７月号では、「学校運営協議会」についてご紹介いたします。「学校運営協議会」とは、地域代表、保護者代表及び校長、学識経験者で構成され、地域と学校の連携・協働を図ると共に教育活動の充実や子どもたちの成長に寄与していく組織です。コミュニティー・スクールとも呼ばれ、次のような役割があります。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会の主な役割として、

○ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
○ 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
○ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

の三つがあります。

幸ケ谷小学校に着任する前は、学校運営協議会というと例年と同じような話し合いがもたれ、意見が出て終わるような印象をもっていました。幸ケ谷小では違いました。「子どもたちの学びや成長のために何ができるかを学校と地域が一緒に考えることができる場」になっていると感じました。学校評価に関しても、委員の方々が学校の教育活動をそれぞれの立場から評価し、意見を出してくださっています。学校側からのアプローチはまだまだで、これから年４回の運営協議会の場をもっと充実させていきたいと思っています。

この場を生かして、学校や大人、地域が時代の変化に伴って主体的に変化していくこと、子どもたちが「真」の生きる力を身に付けること、そして誰もが持続的な幸せを感じることができる社会を「当事者」として創ること、このようなコミュニティー・スクールの目的を達せられる学校運営協議会とともに、これからも学校運営を考えていきます。

さて、７月 21 日からは 38 日間の夏休みになります。リズムのある生活をしつつ、夏休みならではのことに是非、挑戦してほしいと思います。また、親子で過ごす時間を楽しめるのも、夏休みの醍醐味です。お子さんと大いに楽しんでいただき、思い出多い夏休みにしていただけたら幸いです。